

連結決算ハイライト

当上半期は、社会・経済活動は概ね回復基調となった一方で、半導体の需給ひっ迫、部材および資源価格の高騰、サプライチェーンの混乱が継続するとともに、ウクライナ情勢や上海ロックダウンの影響もあり、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

国内では、本年4月の診療報酬改定に基づき、新興感染症等に対応できる医療提供体制の構築や医療従事者の働き方改革等が推進されています。海外では、欧米での金融引き締めによる景気減速懸念はあるものの、医療の質向上と効率化に資する医療機器の需要は総じて堅調に推移しました。

当上半期の売上高は前年同期比7.8%減の943億4千9百万円となりました。利益面では、減収に加え、売上構成の変化による売上原価率の上昇、販管費の増加により、営業利益は前年同期比58.6%減の72億1千7百万円、経常利益は為替差益の計上により前年同期比27.6%減の130億1千9百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比30.5%減の85億4千1百万円となりました。

<国内市場>

国内売上高は前年同期比4.0%減の625億8千4百万円となりました。市場別の取り組みを強化するとともに、消耗品・サービス事業の強化に注力しました。生体計測機器や検体検査装置は好調に推移したものの、前年同期に好調だった生体情報モニタや人工呼吸器の反動により減収となりました。市場別には、診療所市場が好調だったほか、大学市場も堅調に推移しました。一方で、官公立病院、私立病院市場は大幅増収となった前年同期を下回りました。

<海外市場>

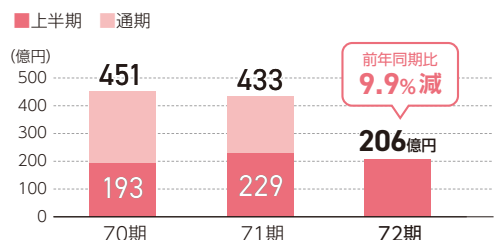
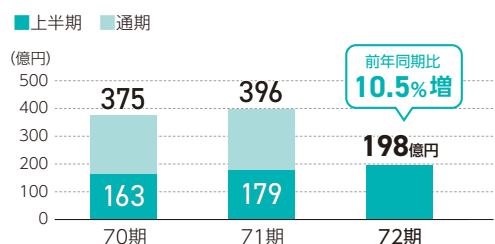
海外売上高は前年同期比14.6%減の317億6千4百万円となりました。前年同期に米国での大口商談や感染再拡大地域での需要増加があった生体情報モニタの反動に加え、上海ロックダウンの影響もあり減収となりました。地域別では、米州、アジア州他が減収となりました。欧州は現地通貨ベースでは減収でしたが、円安効果により円ベースでは増収となりました。

商品群別の概況 (連結)

① 生体計測機器

脳波計、筋電図・誘発電位検査装置、心電計、心臓カテーテル検査装置、診断情報システム、関連の消耗品、保守サービスなど

国内	検査・手術件数の回復、設備投資の再開により、脳神経系群、心臓カテーテル検査装置群が二桁成長となりました。診断情報システム、心電計群も堅調に推移しました。
海外	脳神経系群は、アジア州他を中心に好調に推移した一方、心電計群が全ての地域で減収となりました。上海ロックダウンにより心電計の現地生産・出荷に影響がありました。



③ 治療機器

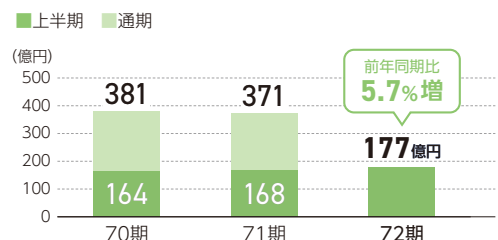
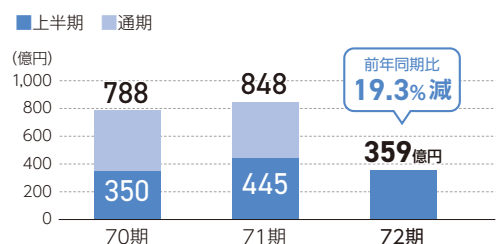
除細動器、AED、人工呼吸器、心臓ペースメーカー、麻酔器、人工内耳、関連の消耗品、保守サービスなど

国内	前年同期に需要が増加した人工呼吸器の反動に加え、AEDも好調だった前年同期を下回り、減収となりました。医科向け除細動器は、更新商談の受注により堅調に推移しました。
海外	前年同期に需要が増加した人工呼吸器の反動に加え、医科向け除細動器も前年同期を下回り、減収となりました。AEDは全ての地域で好調に推移しました。

② 生体情報モニタ

生体情報モニタ、臨床情報システム、関連の消耗品、保守サービスなど

国内	前年同期に好調だった送信機、ベッドサイドモニタが大幅減収となりました。一方で、大口商談もあり、臨床情報システムは二桁成長となりました。
海外	前年同期に大口商談があった米国や、大幅増収となった中南米、アジア州他が減収でした。欧州は前年同期を上回りました。



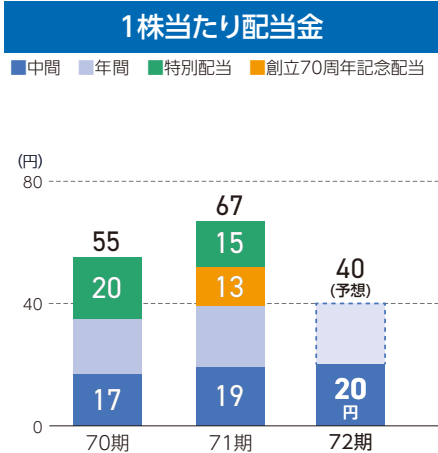
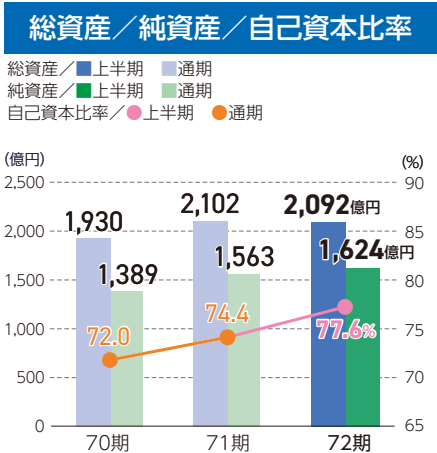
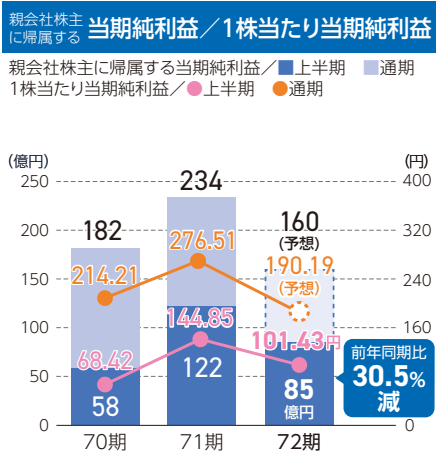
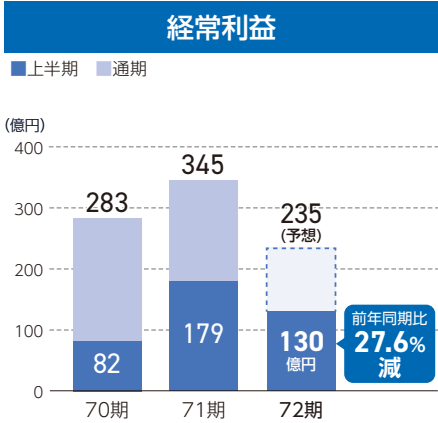
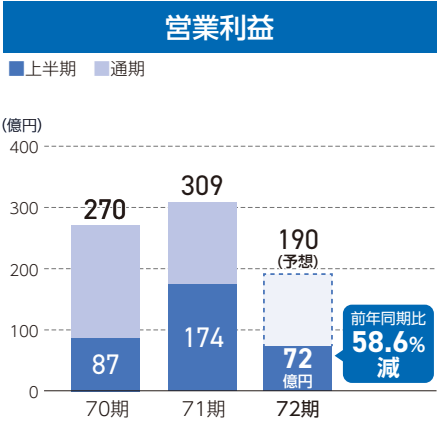
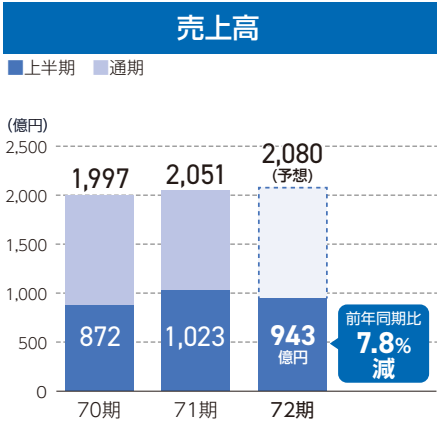
④ その他

血球計数器、臨床化学分析装置、超音波診断装置、関連の消耗品、設置工事・保守サービスなど

国内	検体検査装置や医療機器の設置工事・保守サービスが好調に推移しました。自社品販売の注力により、現地仕入品は減収となりました。
海外	血球計数器・試薬が中南米、欧州で好調に推移しました。

上半期連結決算ハイライト

本資料に記載されている内容は、将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



利益配分に関する考え方

優先順位については、①研究開発や設備投資、M&A・提携、人財育成など将来の企業成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得としています。連結配当性向は30%以上を目標としています。

地域別の概況 (連結)

米州では、米国が減収となったほか、中南米も前年同期に売上が倍増したペルー、チリを中心に減収となりました。欧州は、ドイツ、イギリスは好調に推移しましたが、フランス、トルコが低調でした。アジア州他では、上海ロックダウンにより現地生産・営業活動が一時停止したため、中国での売上が低調に推移しました。前年同期に売上が倍増したインド、タイ、マレーシアも減収となりました。

